

市議会だより

# うきは

令和2年  
2月1日

令和元年  
12月議会号 **No. 60**

## CONTENTS

- p2~3 主な議案
- p4~8 市政を問う! 一般質問
- p9 委員会レポート
- p10~11 意見交換会

# 初の迎春



太宰府 坂本八幡宮

## ●12月議会(令和元年第4回定例会)

会期 12月6日～12月18日 13日間

### 【上程された議案】

議案(一般会計補正予算他)・・・22件  
追加議案(市長等の給料減額)・・・1件

## 主存議案

### ◆一般会計補正予算(第5号)

可決  
賛成10名  
反対2名

歳入歳出それぞれ1億8468万円を追加し、

歳入歳出予算の総額をそれぞれ164億122万円としたものです。

建築から41年が経過し、老朽化していますが、市としては今後も適切な維持管理のもと長寿命化を図るとしています。

### 環境衛生費 1599万円増額 (総額1億1667万円)

小石原川ダムに係わる漁業補償費負担金の総額

1億5640万円のうち、うきは市の利水割合

(10・22%)で算出した、1599万円を負担するものです。

審査の中で、県南広域

水道企業団に交渉等は任せているものの、情報として共有すべきではないかとの指摘がありました。

### ▽主な歳出

### 社会福祉施設費 2296万円の増額 (総額4857万円)

総合福祉センターにおいて、以前より雨漏りが確認されており、昨年の台風に伴う大雨によって症状が悪化したため、屋上の防水工事を計上するものです。

## 討 論

小石原川ダムの

漁業補償費

反対 (石淵和明議員)

市民の税金を使う以上、透明性を確保する必要がある。

現状、市民に上水道整備計画の理解が深まっておらず、市の説明不足は否めない。

今後も人口減少など様々な課題がある中で、財政計画を示さないままでは反対する。

賛成 (中野義信議員)

小石原川ダムの建設にあたり、利水者としてうきは市が参画を表明してきた経過がある。

今回の漁業補償費は、利水割合に基づいて負担するもので、上水道整備計画と直接的には関係がない。

上水道整備については、今後検討していく問題だと認識している。



浮羽稲荷神社

## 農業振興費

4664万円増額

(総額2億5419万円)

水田農業振興対策事業費補助金については、県のスマート農業推進事業により、自動走行が可能な6条刈りコンバイン・8条田植機等の導入支援を行うものです。

農業機械・施設災害復旧支援事業補助金は、7月から9月にかけて発生した大雨や台風の被害を支援する目的で、ハウスの施設の改修、ビニールハウスの張り替え、苗代等を補助するものです。

## 生涯学習センター建設費

506万円増額

(総額1億679万円)

「旧生涯学習センター等解体工事費」の補正は、建屋解体にあたり、排気筒内にアスベストが確認され、その撤去と処分費用及び駐車場整備に要する盛土費用の一部の予算です。

## アスベスト撤去工事が補正予算審議前に竣工しており、事前着工に抵触するのではないのか。

答 アスベスト撤去工事を急ぐため、市長の予算執行権の範囲内で「るり色ふるさと館駐車場整備工事費」の一部を先に執行した。

今後とも丁寧な説明を尽くしたい。

## 追加議案

◆市長及び副市長の給料減額

可決  
賛成12名  
反対0名

平成30年5月と10月に相次いで公金紛失事案が発生し、その監督責任として、市長が減給2か月(10分の1)、副市長が減給1か月(10分の1)とするものです。

## ◆新市建設計画の一部変更

可決  
賛成12名  
反対0名

問 再発防止はどのように考えているのか。

答 庁舎内に防犯カメラを設置し、職員にコンプライアンスと公金取扱いの研修を行った。

また、公金取扱いのマニュアルも整備した。

問 事案が発生して公表まで時間を要しているが。

答 発覚後すぐに警察署に届出して、捜査中であ

ったことから公表できなかった。市長の任期が令和2年7月であり、総合的に判断し公表した。

## 1校区1防災士体制を

### 県の動向を踏まえ検討する(市長)

**組坂** 自主防災組織を育成し地域防災力を強化するため、1校区1防災士体制を構築してどうか。  
**市長** 自治協議会に防災士を配置することは重要なことである。県も防災士設置支援が検討されており、この動向を踏まえ検討する。

### ●● 消防水利について

**組坂** 脆弱な消防水利の実態調査を行い、行政から設置促進の指導をすべきではないか。  
**市長** 今後、消防水利の弱い地域に対し呼び掛けしていく。

### ●● 農業用ため池について

**組坂** 農業用ため池改修等の受益者負担割合の経過はどうなったのか。



くみせか きみあき  
組坂 公明 議員



災害に備えよう

**市長** 防災重点ため池の改修工事は、国の防災減災事業を活用し進めていく計画である。受益者負担割合は、他の施設等の負担金や過去の農業関係事業の負担金との整合性・公平性を整理し、また、防災としての公共性の機能も考慮し、受益者の負担軽減を検討しているところである。

### ●● 財政について

**組坂** 脆弱な財政状況のため、事務事業を見直す専門部署が必要ではないか。  
**市長** 現状では新しい部署を設けることは困難であり、企画財政課を中心に行政財政改革に努める。

## 消防団員の確保に

### もっと市が関わるべきでは

### 各自治会と区長会に協力要請をお願いしたい(市長)

**伊藤** 団員確保は行政区ごとでは限界になっていので、区長の負担も大きいので、団員の優遇措置や負担軽減を実施し、団員確保に努めてもらいたい。  
**市長** 優遇措置は商工会と協議しているが、全国の取組みも参考に検討したい。  
**伊藤** 団員は火災や災害に備えた訓練等で負担が大きい。県操法大会の不参加を検討しては。  
**市長** 県操法大会は県内60市町村のうち、24団体が出場している。参加の可否については消防団と協議して判断したい。



いとう よしやす  
伊藤 善康 議員

### ●● 農業について

**伊藤** レインボーファームによる耕作放棄地解消の進捗は。  
**市長** 30aは解消した。  
**伊藤** ファームの経営状況は。  
**市長** トマトの価格低迷や収穫量の減少を踏まえ、改善策を検討し、併せて経費削減にも努める。

### ●● 自然環境について

**伊藤** 河川の生物調査の進捗は。  
**市長** 調査を実施するべく検討する。今後自然環境に力を入れたい。



団員確保が難しい消防団

## 高齢者の外出支援策の現状と課題は

平等性を求められているので利用勝手が悪く  
数が伸びていない(市長)



たけなが しげみ  
竹永 茂美 議員

**竹永** 公共交通の昨年度  
利用実績と利用者の声は。

**市長** 西鉄バスの撤退後のうきはバス(山春・大石線) 4284人、予約タクシー(妹川・小塩線) 1510人、庁舎間バス 7126人、西鉄上杉野線 6580人が利用した。今後地域包括支援事業で取り組むので各自協働の意見を聞いて改善したい。

**竹永** 見守り支援策は。

**保健課長** 見守り事業所は6箇所あるが、今後は牛乳配達業者や九州電力生命保険会社に呼びかけていく。また、徘徊SOS ネットワークや配食サービスに加え、緊急通報システム「早助(さすけ)」を103台設置し、昨



緊急通報システム「早助(さすけ)」無料貸出

年11件の緊急通報に役立った。  
**竹永** 外国人労働者(技能実習生)の実態と対策は。

**市長** 外国人労働者が増えており、5月末でベトナム人79人、フィリピン人24人、中国人11名など計121人となっている。今後チラシ(生活用と緊急用)を作成し配布する

中での、仕事内容や労働保険の加入などの調査を受け入れ先に行う。

その他の質問  
・子育て世代包括支援センター(うきくる)の実績

・うきは市衛生委員会及び学校総括健康委員会

・うきは市通学路安全対策推進会議

## 「住みたくなるまち」づくりについて

「住みたくなるまち」になるには、  
うきはのブランド力が大変重要である(市長)



のづる おさむ  
野鶴 修 議員

**野鶴** 住みたくなるまちづくりの中で、子育て世代に対する取組みが弱いのではないかと考えている。市役所の中に人口減少対策プロジェクトチームを設置し、エクトチームを設け、外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**市長** 子供・子育て支援というの重要なことだ

**野鶴** うきは市は、他の市町村と比較しても子供・子育て支援が遅れていると思う。早急な取組みをお願いしたい。

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)

**野鶴** 外国人労働者の増加している。住みたくなるまちになるには、うきはのブランド力が大変重要である(市長)



「守りたい」うきはの宝

**市長** 今年の8月に国で棚田地域振興法が施行されている。これを受けて指定棚田地域については1万円を加算することが議論されている。このことを見極めながらしっかりと対応していきたい。

## 生活困窮者や引きこもりなどの 支援体制は十分か



さとう たんよう  
佐藤 湛陽 議員

調整会議で支援内容を検討し、  
適切な支援に努めている(市長)

**佐藤** 引きこもりの長期化・高齢化の対策と支援後の検証は。  
**教育長** ニートについての  
**市長** 市では、福岡県若

**市長** 支援開始時に作成する記録表に記録しており、就労や進学が決定しても関係機関と連携しながら定着するまでのフォローを行っている。  
**市長** 市では、福岡県若



内職シェアステーション こここんね

**教育長** 学校教育課が福祉事務所・保健課と一緒に仕事をやっている関係で情報共有が非常に早くなっている。  
**佐藤** 児童虐待・ネグレクトの対策は。  
**市長** 市では、子ども虐待対策マニュアルを作成し、関係機関との情報共有を図り、連携しながら迅速かつ組織的な対応に努めている。  
**佐藤** 未然に防止するための取組みは。  
**福祉事務所長** 子育て世代包括支援センターと連携しながら、切れ目のない支援体制をつくっていくことで虐待の早期対応につながるかと考えている。

## 増え続ける荒廃地対策は 喫緊の対応が必要では



くまだき かずあき  
熊懐 和明 議員

荒廃する前に農地を流動化させる事が必要と考える(市長)

**熊懐** 住宅地そばの果樹農園等は、雑草で荒れているが市として対策は。  
**市長** 農業委員や農地利用最適化推進委員が組織一丸となって対応している。

### ●鳥獣被害の軽減に向けて

**熊懐** イノシシやシカ等による被害も多く、駆除は急務と考えるが。  
**農林振興課長** くくりワナも有効な捕獲の方法なので、資格の拡充ができないか現在も駆除班と協議を進めている。



木々の新芽を食べるシカ

### ●互いに支え合う町づくり

**熊懐** 高齢者を支えていく必要があると考えるが、相談窓口は一箇所にまとめる必要はないか。年金の少ない方々の対応策について具体的に伺う。多く聞かれるが。  
**市長** 専門的な相談窓口である地域包括支援センターを中心に地域住民と連携し、生活支援を行う。に努めていく。

### ●相談窓口の一本化を

**熊懐** 空き家に対しての相談窓口は一箇所にまとめる必要はないか。年金の少ない方々の対応策について具体的に伺う。多く聞かれるが。  
**市長** 専門的な相談窓口である地域包括支援センターを中心に地域住民と連携し、生活支援を行う。に努めていく。

## 8050問題の取組みは



うえの きょうこ  
上野 恭子 議員

### 実態把握に向けて関係機関と連携していく(市長)

**上野** 80歳代の親が50歳代の子供の生活を支える問題だが「親が死んだらどうしよう」と、全国で親や兄弟から不安の相談が支援団体に入っている。市の実態把握と将来を見据えた対応や考えはどうか。

**市長** 実態調査は行っていないが、民生委員・児

童委員に対しアンケート調査を行い、日頃の活動から把握をしている。中

高年で16名となっているが、親自身が認知症などで支援が必要になることも懸念されている。早い段階での実態把握に努め、親子が孤立せず外部と関わり続けられるよう関係部署が連携し継続的な見

守り支援を行いたい。

**上野** 親が亡くなった後の事を心配する相談が増えている。今後深刻化する事が予想され、地域包括ケアシステムの中でみんなの問題として考えたらと思うが。

**福祉事務所長** 地域包括

ケアシステムとは地域共生社会を目指すもので、地域がその方々を排除せず、温かく見守る仕組みづくりに取り組んでいる。

●●避難所の防災備品拡充を

**上野** 自治会避難所のAEDや救急箱は市で設置すべきでは。

**市長** 配置を検討したい。



自治会にも必要では

## 出初式前にパレードが必要か



なかの よしのぶ  
中野 義信 議員

### 消防団との協議を待つてお願いしたい(市長)

**中野** 今は消防団に成り手がない。そういった時代になってきている。団員確保のため団員の負担軽減を伺う。

**市長** 消防団の全体行事や地区活動の見直しなど、消防団員の負担軽減について、消防団と協議を行っているところである。

**中野** 操法大会は、長期間の訓練になることから仕事や家庭に負担を与えていると言われるが。

**市長** 今年は、訓練期間と時間を定め、過度な負担が掛からないよう配慮している。

●●パークゴルフ場建設

**中野** 藤波ダム公園に、御幸・妹川地区の自治協議会から連名で、パークゴルフ場の建設について



早朝の市中パレード

請願書が出されているが、この対応について伺う。

**市長** パークゴルフ場として、将来にわたり持続可能な事業計画が策定されたら、市としても既存の公園活用との調整や、

●●その他の質問  
人口減少歯止め対策

県土整備事務所との協議については、しっかりと対応させていただきたい。

## 子ども医療費支援の充実を



いわぶち かずあき  
岩淵 和明 議員

### 少子化プロジェクトチームで検討している(市長)

**岩淵** 中学生の入院に係る医療費助成について、現在の一旦医療機関に支払って後日払い戻しを行う還付方式から現物給付の制度に、また、通院も入院同様に助成対象の見直しを求める。

**市長** 現在中学生の入院助成の利用は年間10人で

少子化対策上重要な課題と十分承知している。限られた財政状況と施策のバランスを考慮し少子化プロジェクトチームで試算しているのか。

**岩淵** 具体的にどの程度金額が掛かるかだが、一番医療費の掛からない年代が中学・高校生で受診

#### ●● 国保の負担軽減を

**岩淵** 均等割負担軽減の創設について直ちに行う事は厳しいとのことだが、多子世帯に対する軽減の具体化を求める。

**市長** 国保財政は県への国保事業費納付金が年々増加していく見通しである。厳しさが増す中で実施は困難と考えている。



子育てしやすいうきは市を

## 鏡田屋敷の

### サテライトオフィス事業開始は



さとう ひろのぶ  
佐藤 裕宣 議員

### 令和3年度からの事業開始を考えている(市長)

**佐藤** 施設整備から3年が経とうとしている。予約の状況は。

**副市長** 予約を入れて本格的に動くところまでにはまだ至っていない。現在基礎づくりを行っている。体制を整えて本格的な活動に向けての取組みを行っている。

**佐藤** 指定管理について

**副市長** 館の案内については今まで通りシルバーク人材センターに、ワークについては別の指定管理を考えている。

#### ●● 自治協議会の活性化

**佐藤** 自治協議会活性化のための具体的な施策について伺う。

**市長** 地区の特徴を生かした、また地域のテーマ



サテライトオフィスとして利用される鏡田屋敷

に沿った支援を行っている。そこで行きたい。さらに自治協の皆様には県などが主催する研修会等、他地区における取組み事例等にふれる場の提供に努めている。

**佐藤** 現場の状況を理解していないのでは。

**市長** 自治協総会、隔月の自治協会議に出席し話

- その他の質問
- 6次化支援センター
- 地域消防団員



### 岡山県岡山市(株式会社サンナン)・・・『廃棄物再生燃料抽出システム』



有害鳥獣を処理し再生燃料を抽出する装置について視察研修を行いました。この装置は、廃棄物を分別せず一括投入し、過熱水蒸気により分解処理され、残った油と炭が再生資源として利用できるものでした。しかし、国内利用が少なく、今後調査検討していかなければならないと感じました。

### 岡山県高梁市宇治地区・・・『耕作放棄地を活用し地域創生』

各地で人口減少・少子高齢化が課題となる中、当地区は耕作放棄地を活用し「もち麦」を栽培。「宇治雑穀研究所」を立ち上げ、6次産業の認定を受け販路拡大、カフェ「麦」オープン等、雇用の創出と定住に力を入れられ、大変勉強になりました。



### 静岡県掛川市・・・子育てコンシェルジュ事業



出産から満3歳までの子供がいる世帯を対象に、保育等の専門知識を有する7名のコンシェルジュが家庭訪問、子育ての悩みや不安を傾聴し、アドバイスや施設の紹介を行うなどの取組みがなされていました。

### 広島県福山市・・・高齢者外出・買い物支援事業

小学校区単位で、事業に賛同する住民が支援グループを結成し、地域住民と市の共同で実施、あくまでも位置づけとしては介護予防に資する事業で、利用者の健康増進や社会参加、生きがいづくりとして行っていました。



## 皆さんのご意見を市政に 山春地区意見交換会(11月18日)



### 市民意見1(空き家対策)

うきは市には空き家問題の担当部署が3つあり、空き家対策の動きが見えない。空き家対策室として1つに組織化してはどうか。

### 市民意見2(高齢者の居場所づくり)

地区内を走るコミュニティバスは基幹道路しか走っていない。もっと地区内に入るとか停留所を増やすとか、利用者が増えるような改善を。

### 市民意見3(耕作放棄地対策)

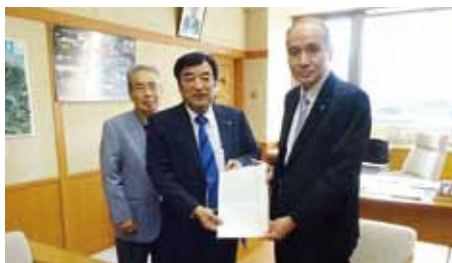
新規就農者よりリタイヤ農家が多くなる事が現実である。果樹園は道が狭いところがあるので、小規模団地等の土地改良ができないか。



議員さん ちよつと聞いてよ!

### 市民意見4(その他)

自治協の仕事が増えており、人とお金が必要だが、市からは財政が厳しいの一言…。逆に市は無駄な金をはぶくため、こういった経費削減をしているのか見えてこない。



消防団に関する提言書を市長へ

## 消防団に関する意見・提言の回答

消防団から意見交換会で出された意見・要望を議会改革特別委員会にて整理し、11月8日に議長から市長へ「うきは市消防団活動の軽減と団員確保に対する積極的対応について」として提言書を提出しました。

以下、市長の回答を報告いたします。

●全体行事の見直しを行うこと

【回答】 行事の見直しはこれまで実施してきました。これ以上の訓練行事見直しは困難である。

●県消防操法大会への参加の必要性について検討すること

採用職員に入団を促す取り組みを実施している。消防団は地域防災力の中核を担う存在であり、団員確保の問題は消防団だけではなく、地域の問題として共有し、自治協議会を通じて区長会等へ団員確保への協力依頼を行う。

【回答】 県消防操法大会は、技術面などの向上と消防団全体の士気、結束力向上のため必要である。また、うきは市消防団は、近年2大会連続で準優勝を取っており、今後も福岡県全体で取り組むべきものであると考えている。

●団員確保について、

市・自治協議会・行政区での協力体制の整備を進めること

【回答】 市の取組として、広報活動のほか新規



詳しくは市議会のホームページをご覧ください



# 高校生との意見交換会 開催!



日時：令和元年11月15日（金曜日）  
14:30～

場所：うきは市役所3階大会議室

対象：浮羽究真館高校の生徒会役員18名と  
議員9名

## うきは市について普段あなたが思うこと(1班)

うきは市の良いところとして「自然豊かで、白壁の町並みなど歴史を感じる」「フルーツが美味しい」「地域の行事や祭りでの交流」など田舎ならではの評価を感じさせ、  
「商業施設や映画館などの娯楽施設が少ない」など若者が暮らすには物足りないなどの意見が出されました。また、提案として「インスタ映えるスポットなど若者が集まる場所を増やす」などの意見が多数ありました。

意見を集約すると、

田舎ならではの良さを大切に維持しつつ、若者に魅力ある施設を充実させて、若者が住みやすいまちづくりを行うことが大切だと感じました。

## あなたやあなたの周りで不安や心配なこと(2班)

身近なうきは市の中で、良いところは、「自然環境と白壁の町並み」「人が優しい」「お洒落なカフェが増えてきた」などが評価されている反面、悪いところでは「交通の便が悪い」「ゴミのポイ捨てが多い」「夜が暗い」「道路がガタガタで危ない」など、これも田舎暮らしの特徴が出ていました。

高校生からは「普段思っているけど、口に出して言う機会がなく、政治と結び付けて考えることがなかったが、こうしてみんなで意見を出し合えたことで、いろんなことを考え、関心を持つきっかけになった」との声が聞かれました。



## うきは市や国の政治についてあなたが思うこと(3班)

国の政治は、「テレビとかニュースで報道されたりするが、何が正しくて、何が悪いのか、政治家を信じていいのかかわからなくなることもある」という意見がある一方、うきは市のことになると「何をしているのか全くわからない」という声が聞かれました。その中で、「若者がよく使うSNSなどで情報発信したら、若者がもっと関心を持つと思う」という意見もありました。



身近なテーマに絞って意見を聞くと、他の班と同じように「交通の便が悪い」「吉井駅やうきは駅の改善」など、高校生が普段利用することに意見が集中し、若者の政治参加に向けて、情報提供することの重要性を強く感じました。

## 所見(感想)

今回の意見交換会では、高校生の声を聞くことができました。「若者が住みやすいまちづくり」については、議会も市政の進め方について、おおいに関わりを持ち議論を交わしていく必要があります。

今後は、今回の意見交換会が「過性のもの」にならないように反省をしっかりと行い、次の高校生との意見交換会へ繋いでいくことが、重要であると感じました。





田園が広がる浮羽町「沖出」圃場

## 「うきは」パノラマ

### うきはは農業の現状と今後

筑後平野は、国内有数の穀倉地帯として知られる。

時代とともに農業政策は急速に進展し、機械化が進む一方で、曲がり・狭い農地を拡張区画する圃場整備事業が進められ、生産基盤は大きく変貌を遂げてきた。

さらに水田農業の経営体形は、個人農業から集落営農組合や法人に移行し、特に写真の沖出地区では大豆の団地化による集積・規模拡大を図っている。

このように生産基盤は確立されたが、少子高齢化は、主力であった農業者の高齢によるリタイヤが余儀なく、受け継ぐ担い手にとどまらず人材・人手の確保など、農業を基幹産業「フルーツ王国」とするうきは市も、いまや危機的な状況に瀕している。

現に、うきは市が取り組む「地方創生総合戦略」の基は農業振興にあるとして、議会では衰退する中山間地と果樹農業を含めた農業先進地を視察、調査・研究を進め、農業生産基盤の拡充（企業化再編）や新規就農者の育成・移住等の受け入れ対策を提案するなどの政策論議を展開している。

### 編集後記

「令和」の新たな年を迎えましたが、この「議会だより」が皆さんのご家庭に届くころは、早や二月（如月）です。

私たち広報委員会は

昨年3月、この議会だよりの刷新に取組み、主力とする新たな委員とともに広報・広聴の先進地を視察するなど、それぞれの感覚と感性ある持ち味を結集し、「まず見てもらう、そして読んでもらう」

をスローガンに掲げ、根本からの見直しに挑戦してきました。

まだ途上ですが、「変わったの！」「表紙がいい！」との評価が飛び込んでいます。

さて、今年の夏は世界が結集する「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。衰退する地方にも新たな光をもたらす契機となることを期待しています。

（委員長）

### 「うきは」未来への論戦！ 議会を傍聴しませんか。

- ◇3月議会は  
3月6日(金)開催予定
- ◇一般質問は  
3月9日(月)10日(火)  
の2日間の予定です。



#### 発行責任者

議長 柳川 正男

#### 広報広聴委員会

委員長 江藤 芳光  
副委員長 鍵水 英一  
委員 野鶴 修  
佐藤 裕宣  
組坂 公明  
佐藤 茂和

議会事務局 TEL 75-4990  
FAX 75-3342